

令和元年度 事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



たきの森のがっこう（滝野自然学園）



公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会

目次

I.	令和元年度 総括	1
II.	経営理念	2
III.	事業報告	
1.	事業実施状況	
2.	施設管理運営	
3.	事業実施報告概要（事業区分別）	3
4.	部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況	5
5.	各課（各施設）事業実施報告	
(1)	こども事業課・こども育成課（指定管理事業：児童会館 108 館）	14
	（受託事業：ミニ児童会館 92 館、放課後子ども館 1 館）	
(2)	こども劇場課（指定管理事業：やまびこ座・こぐま座）	16
(3)	若者支援事業課（指定管理事業：若者支援施設 5 館）	18
(4)	企画事業課（地域活動等事業：野外活動系事業）	20
	（自主事業：滝野自然学園）	
(5)	野外活動課（指定管理事業：北方自然教育園）	22
(6)	野外活動課（指定管理事業：定山渓自然の村）	23
(7)	野外活動課（指定管理事業：青少年山の家）	25
(8)	市民参画課（指定管理事業：札幌エルプラザ公共 4 施設）	27
(9)	企画事業課（地域活動等事業：自主事業・受託事業）	29
(10)	その他地域活動等事業（こども育成事業、財団連携事業）	30
6.	重要な契約に関する事項	31
7.	こども基金（スマイルキッズ）協力者・助成対象一覧	
IV.	事務報告	33
1.	設立年月日	
2.	定款に定める目的	
3.	定款に定める事業内容	
4.	事務所の状況	
5.	役員等に関する事項	
(1)	理事	
(2)	監事	
(3)	評議員	
6.	職員に関する事項（事務局組織図）	35
(1)	主要な職員	
(2)	職員数	
7.	会計に関する事項	36

I. 令和元年度 総括

令和元年度は、社会環境や価値観の急速な変化に対応するため、事業内容の再構築や他部門・他団体との業務連携等の推進を図ることを基本方針に掲げ、事業を展開した。

複数の異なる事業を展開する当財団は、既存の枠組みに捉われず、事業領域を超えた部門間の業務連携を強化することにより、他企業の行う事業との差別化や様々な社会環境の変化に対応した事業展開が可能となるが、こども育成部門と若者支援部門との協働による子どもの貧困対策事業や、野外施設部門とこども育成部門との連携による野外体験活動の展開など、当財団の特性を生かした事業展開に繋げることができた。

また、事業規模の拡大に伴い急速に職員が増加するなか、安定した事業運営と将来に向けて事業を推進していく人材の確保、育成が課題となっているが、人材育成の基本方針に基づく職員研修の再整備に取り組むほか、目標管理制度を通じた職員との面談の実施、各種システムを活用した適切な人事労務管理を進めるなど、職員が成長し続けるために必要となる各種制度の導入や仕組みづくりを推進している。

当財団は、令和2年度に設立40周年の節目を迎えるが、未曾有の感染症拡大の影響を受け不安定な状況下にある社会において、来るべきコロナ後を見据えた今後の事業展開の在り方の検討や活動内容の再構築に取り組む必要がある。

当財団の理念や存在意義を踏まえた明確な未来ビジョンのもと、組織が一丸となって、すべての人がつながりを感じられる希望ある未来社会の創造に貢献していかなければならない。そのためにも、社会情勢に則した柔軟な変容と、財団の目的達成に向けた不変の努力をもって、引き続き公益的使命を果たしていく。



II. 経営理念

「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」

III. 事業報告

1. 事業実施状況

令和元年度 事業基本方針	
1	時代のニーズに対応した事業内容の再構築
2	他部門・他団体との業務連携等の推進
3	既存業務のシステム化の推進
4	事業展開における未来ビジョンの設計
5	部門別事業収支の適正化

2. 施設管理運営

(1)自主事業 1 施設

- ・滝野自然学園

(2)指定管理事業 119 施設

- | | |
|--------------|-----------|
| ・若者支援施設 | 5 施設 |
| ・児童会館 | 108 施設 |
| ・青少年山の家 | 1 施設 |
| ・定山渓自然の村 | 1 施設 |
| ・北方自然教育園 | 1 施設 |
| ・札幌エルプラザ公共 | 4 施設 1 施設 |
| ・子どもの劇場やまびこ座 | 1 施設 |
| ・子ども人形劇場こぐま座 | 1 施設 |

(3)受託事業 93 施設

- ・ミニ児童会館 (92 施設)
- ・放課後子ども館 (1 施設)



3. 事業実施報告概要（事業区分別）

【定款第4条】 (1)青少年の健全育成と社会参加に関する事業 (2)社会教育の推進に関する事業

公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

子ども育成事業

(1)青少年活動支援事業

- ・放課後児童クラブ事業
- ・学習活動事業
- ・各種講座、講習会
- ・劇団育成支援事業
- ・インターナシップ、各種実習の受け入れ

(2)体験機会創出事業

- ・社会奉仕活動事業
- ・各団体との共同開催事業
- ・子どもの体験活動機会を創出する事業

(3)施設管理運営事業

- ・児童会館の管理業務、貸室等
- ・こども劇場の管理業務、貸室等

若者自立支援事業

(1)体験機会創出事業

- ・自立支援プログラム、就労支援トレーニングプログラム
- ・交流促進事業
- ・ボランティア参加事業 等

(2)受託事業

- ・若者サポートステーション事業（厚生労働省受託事業）等

(3)調査研究事業

- ・社会的自立に関する調査・研究事業

(4)施設管理運営事業

- ・若者支援総合センター、若者活動センターの管理業務、貸室等

自然体験活動事業

(1)滝野自然学園事業

- ・体験機会創出事業
- ・職員派遣事業
- ・情報発信事業
- ・団体支援事業
- ・施設管理運営事業

(2)北方自然教育園事業

- ・体験機会創出事業
- ・施設管理運営事業

(3)定山渓自然の村事業

- ・体験機会創出事業

(4)青少年山の家事業

- ・体験機会創出事業
- ・団体支援事業

【定款第4条】 (3)市民活動の振興に関する事業

公2 男女共同参画をはじめとする市民活動の振興等に関する事業

市民活動振興事業

- | | | |
|-----------|-----------------|-----------|
| (1)活動支援事業 | ・男女共同参画啓発事業 | ・市民活動関連事業 |
| | ・N P O活動支援事業 | ・相談・支援事業 |
| (2)職員派遣事業 | ・大学、専門学校他への職員派遣 | |
| (3)情報発信事業 | ・各種情報誌の発行事業 | |

【定款第4条】 (4)その他法人の目的を達成するために必要な事業

収1 イベント・物品貸与等事業

- ・民間企業等から受託したイベント
企画運営等事業
- ・物品貸与等事業

他1 札幌エルプラザ等施設管理運営、 公益目的外での施設貸与事業

- ・札幌エルプラザ公共4施設、
定山渓自然の村、青少年山の家の管理運営
- ・こども劇場、若者支援施設における
公益目的外での施設貸与事業

4. 部門別（各施設）重点目標及び数値目標の達成状況

こども事業課・こども育成課

札幌市児童会館

札幌市ミニ児童会館



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

重点目標	内容	達成状況
	<p>【地域活動等事業】</p> <p>①多様性を認め合い、子どもたちが自分らしく過ごせる居場所づくりを進める。</p> <p>②主体性を活かしたあそびや体験をとおして子どもたちの未来の可能性を広げる。</p> <p>③地域・関連機関・保護者等と連携し、子どもたちの心身の育ちの場を広げる。</p> <p>④学習支援事業（札幌まなびのサポート事業「遊學舎まなべえ」） 生活困窮世帯の中学生を対象に、学習支援活動により高校進学を促進する。併せて、若者支援事業課と連携し、中学校卒業後の支援に向けた取り組みについて推進する。</p> <p>⑤子どもの暮らし支援コーディネート事業 困難を抱えている子どもや家庭を早期に発見し必要な支援につなげるコーディネーターを配置し、子どもの暮らしを支える相談支援体制の充実を図る。</p>	<p>①子どもや保護者の状況や価値観を視野に入れ、寄り添った対応を心がけた。日常活動、ふりーたいむ、学びのサポート事業等においても自分らしく過ごせる居場所とすることができた。</p> <p>②子どもの権利の重要性を再確認し、子ども運営委員会の活動を活発化させた。子どもたちの意見を事業等に反映し、形になるよう支援した。</p> <p>③保護者、地域協力者、関係機関との連携強化に努め、児童会館の可能性を探る「見える化プロジェクト」を実施した。市民や教諭に対するアンケートを行い、今後の方向性を検討する材料を得ることができた。</p> <p>④個々に寄り添った学習支援や体験活動をとおして、自己肯定感を高める機会を提供し、居場所の一つとして定着した。卒業後の継続した関わりや学習支援サポーターの育成等、事業内容の充実を図った。</p> <p>⑤困難を抱える子どもや家庭を相談機関や医療機関につなげ、地域における重層的な見守り体制の構築ができた。行政機関との情報共有や会議を実施し、多様な視点からケース検討を行うことができた。</p>
共通目標	<p>【施設運営等事業】こども事業課</p> <p>①各種企業・団体との連携体制の強化</p> <p>②財団内他部門との連携強化</p> <p>③各種活動・事業のエビデンスづくり</p>	さまざまな新規の各種企業・団体との連携を図ることで事業の幅が広がった。今回の連携をより強化し、次年度の事業展開につなげていく。財団内他部門との連携においては今後に向けての協力体制強化について情報を共有し、進めていく。
数値目標	<p>【施設運営等事業】こども育成課</p> <p>①施設満足度の向上を意識した事業運営</p> <p>②緊急時における安心、安全な施設運営体制の確立及び危機管理意識の向上</p>	<p>①スポーツ大会やクッキング等、子どもたちの意見を反映する事業を展開し、利用者満足度を高めることができた。</p> <p>②安否確認システムの登録を行うことで危機管理意識を高めた。</p>
部門目標	<p>①利用者総数（こども育成課） 4,020,000 人</p> <p>②事業プログラム参加者総数 　　こども事業課 1,180 人 　　こども育成課 900,000 人</p> <p>③利用者アンケートにおける満足度 80%</p>	<p>①3,842,093 人 (95.6%)</p> <p>②こども事業課 1,776 人 (99.6%) 　　こども育成課 845,707 人 (94.0%)</p> <p>③・総合満足度 89.6% 　　(児童会館 90.4%、ミニ児童会館 88.7%) 　　・接遇満足度 96.6% 　　(児童会館 96.4%、ミニ児童会館 96.7%)</p>
	<p>【こども事業課】</p> <p>①各種企業・団体等、新規関連ネットワーク団体との連携 5 団体以上</p>	①11 団体 (220.0%)
	<p>【こども育成課】</p> <p>①地域連携事業の実施 　　5 回以上/年 (1 館) 　　1,000 回/年 (全館)</p>	<p>①184 館 (92.0%)</p> <p>※達成率については目標達成館/200 館により算出 1,156 回 (115.6%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	内容	達成状況
	事業実績	評議会実績
	<p>【地域活動等事業】 「夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり」 劇場という空間が特別なものではなく、地域に開かれた親しみある場であるよう、子どもから大人まで多くの市民が集い合い、夢や笑顔を交わすことでき生まれる創造的な取り組みを応援し、人や地域の活性化につなげる。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人形劇、児童劇等の裾野を広げていくための人材育成の取り組み 人材育成を柱に、時代のニーズに合わせ継続的かつ発展的な事業展開を図る。 ②札幌の子ども文化の創造と発信による新たな可能性 子ども文化の創造・発信拠点としての中心的役割を担う。 ③やまびこ座、こぐま座、中島児童会館との連携による事業の拡充 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館という歴史的価値の高い、貴重な3施設による連携を図り、子どものための専門施設として、より効果的な運営を実現する。 ④劇場スキルを活かした財源確保と効率的かつ効果的な運営 指定管理費と併せ、公的助成や民間資金の活用による発展的な事業展開を図る。 ⑤子どもの文化施設としての社会的役割と使命 全国的にも数少ない子どものための公立文化施設として、文化力による社会的役割を明確にし、未来ある子どもたちの夢と可能性を広げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こぐま座は、資料室MA・SO・BOの利用が定着し、利用者総数が大幅に増加した。 ・やまびこ座は、昨年度の改修工事に伴う長期休館で観客が離れてしまうことが懸念されたが、再オープンを待ちわびた多くの方に利用いただいた。 <ul style="list-style-type: none"> ①人形劇と児童劇等を中心とした人材育成事業に一つひとつ丁寧に取り組むことで、劇場の内外へ裾野を広げることができた。 ②新たな広がりとして、北海道立文学館との共催事業として2か月間の人形劇の企画展、市主催の子どもの権利条例10周年記念イベントにおける巨大人形劇上演、市内児童会館をはじめとしたプロデュース人形劇巡回公演などを実施した。 ③劇場の強みを活かした関係機関との連携による発展的な事業により幅広い世代・地域を対象に、児童文化の普及に努めた。 ④新たな事業展開により、企画事業収益の增收につながった。 ⑤「やまびこ座リフレッシュオープンフェスティバル」、「札幌国際人形劇フェスティバル」、「夏休み特別公演」等、道内外や世界から人形劇団を招へいし、さまざまな主催公演を実施した。
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者総数 70,000人 ②事業プログラム参加者総数 24,000人 ③参加者アンケートにおける満足度 85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①75,983人 (108.5%) ②31,007人 (129.1%) ③90.0%
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ①やまびこ座・こぐま座共に年間上演日数120日、公演数200回以上の確保 ②中島児童会館・人形劇場こぐま座資料室『MA・SO・BO』年間利用人数10,000人 	(上演日数/公演数) <ul style="list-style-type: none"> ①やまびこ座 117日 (97.5%) /175回 (87.5%) こぐま座 120日 (100.0%) /192回 (96.0%) ②10,870人 (108.7%)
部門目標		



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

他1 目的外での施設貸与等事業

	内容	達成状況
重点目標	<p>【地域活動等事業】 「他部門・他団体との連携により新たな社会課題と向き合う」 若者を取り巻く社会的課題について、財団内他部門やNPO・市民の方等との協働により解決へ向け取り組む。そのための人材育成を財団内他部門（こども育成課・こども事業課）と協働して進める。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「若者の気付きと出会いのプラットホーム」 市民や他団体との協働によって若者を育てていく。さまざまな情報が集まり、必要に応じアクセスできるよう、接点としてのプラットホーム的功能を強化する。 ②「育ち合えるグループ活動の提供」 家庭や学校・職場以外の育ちの場として、体験活動を通じたグループを形成する。多様な価値観に触れ、互いの役割が流動的な「育ち合える環境」を創出する。 ③「コンプライアンス経営および業務のスリム化」 職員一人ひとりが公共・公益的活動の実践者であることを自覚し、市民との対話を重視した施設運営および事業推進を行う。 	<p>こども事業課・こども育成課との連携によって、困難を抱える子ども・若者・親への切れ目のない支援をさらに推し進めることができた。また、LGBTsの問題に専門性を持った団体と協働で「Youth+にじ一す」という名称で事業を展開することによって、新たな業務分野を開拓した。</p> <p>労務面について、安定的かつ職員一人ひとりが安心して業務に取り組むことのできる体制を確立しながら、計画的な年次有給休暇の取得を進めた。 利用受付システムの小改修を行い、利便性を向上させたほか、中期的な機能拡充の検討を開始した。</p>
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者総数 297,700 人 ②事業プログラム参加者総数 43,400 人 ③参加者アンケートにおける満足度 96.0 % 	<ul style="list-style-type: none"> ①265,123 人 (89.1%) ②49,103 人 (113.1%) ③96.9%
数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ①利用証の発行を受けた若者等登録者数 16,000 人以上 ②新規に相談を受けた自立支援登録者数 400 人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①14,657 人 (91.6%) ②351 人 (87.8%)
部門目標		



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

	内容	達成状況
重点目標	<p>【地域活動等事業】</p> <p>①財団所有施設である強みを活かし、グループ活動を主体とした時代のニーズに対応するプログラムを提供し、青少年の健全育成を図る。</p> <p>②財団が指定管理で運営している他施設や他部門、関連団体との横断的連携により自主事業の拡充や幅広い分野からの指導事業受託を推進する。</p> <p>③財団が有する滝野自然学園の将来像の検討とこれまでの形態に捉われない「未来ビジョン」を策定し、運営方法の再構築を行う。</p>	<p>①滝野自然学園をフィールドとする各種事業を実施。また、「おためしキャンプ」で潜在するニーズを掘り起こし、ほかの主催事業への参加につなげることができた。</p> <p>②児童会館部門、㈱北海道クボタとの「クボタ e プロジェクト」やこども事業課・育成課との「カヌーキャンプ」などを実施することができた。また、新規で認定こども園からの指導業務を受託することができた。</p> <p>③滝野自然学園の新たな使い方として料金体系の見直しと運営方法の改訂を行った。</p>
共通目標	<p>①利用者総数 6,700 人 ②事業プログラム参加者総数 3,300 人 ③参加者アンケートにおける満足度 92%</p>	<p>①6,282 人 (93.8%) ②3,970 人 (120.3%) ③92.0%</p>
数値目標 部門	①財団内利用件数 20 件以上	①26 件 (130.0%)



	内容	達成状況
重点目標	<p>【地域活動等事業】</p> <p>①市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供</p> <p>②地域住民や果樹園等との関係性を深め、白川地区一体となって知名度向上を図る</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習内容の充実化</p> <p>②学習指導要領と関連づけた体験学習の実施</p> <p>③SNS を活用した小中学校や市民への情報提供</p> <p>④学びの農園（Learning Garden）実施に向けての調査研究</p> <p>⑤特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザインとの連携強化</p>	<p>①「野生動物関連フォーラム」に向けて協力団体である自然観察協議会と準備を進めていたが新型コロナウィルス感染症感染防止のため中止とした。</p> <p>②果樹生育が盛んな白川地区と連携し体験農園に参加する児童に対して白川の歴史や地域と農業のつながりについて学びを深める機会を提供することができた。</p> <p>①②学習指導要領に則した体験授業を実施した。水田の体験学習では説明用のパネルを大型にすることで、より視覚的に児童たちに働きかけ理解力向上につながった。体験農場については総合学習の一環として実施。脱穀精米における農業機械の比較を社会科の工業の要素として、また理科的要素なども数多く取り入れた総合的な体験活動を提案し、学習効果の高いプログラムを提供することができた。</p> <p>③Facebook を活用し園内の樹木の生育状態について定期的に情報提供を行い、報道機関からの問い合わせにつながるきっかけとなった。</p> <p>④学びの農園については試行として農薬を使わず農作物を防虫する方法などの調査研究を行った。次年度以降も継続的な調査研究を行い北国における農業の在り方について総合学習に関連付けたプログラムを提案していきたい。</p> <p>⑤体験農園における農業技術の共有、学校教育のサポート施設としての教育的效果検証を協働で行うことができた。</p>
共通目標	<p>①利用者総数 11,300 人</p> <p>②事業プログラム参加者総数 1,000 人</p> <p>③参加者アンケートにおける満足度 92%</p>	<p>①10,324 人 (91.4%)</p> <p>②897 人 (89.7%)</p> <p>③92.7%</p>
部門目標	<p>①小中学校を対象とした農業体験事業の提供 64 校</p> <p>②市内学校への生物教材配布事業 213 校 (延べ参加校)</p> <p>③市民ボランティアの活動 127 人</p>	<p>①56 校 (87.5%)</p> <p>②213 校 (100.0%)</p> <p>③118 人 (92.9%)</p>



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	内容	達成状況
	<p>【地域活動等事業】</p> <p>①体験型観光、地元温泉街と連携した着地型観光と関連性の高い魅力的なプログラムの提案を行う。</p> <p>②札幌市内の児童を対象に自然体験活動をとおした「学び」と「遊び」の機会を提供する。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <p>①特別な支援を要する団体を対象としたスペシャルニーズキャンプの実践 特別な支援を必要とする団体へ自然体験活動のプログラムを提供する。</p> <p>②平日及び冬季利用促進を目的とした事業の実施 施設利用の促進や利用者ニーズに応えるべく事業を積極的に展開する。</p> <p>③野外教育を手法とした課題を抱える若者の支援事業(他部門連携) 自己肯定感の向上や学力向上につながる体験活動の機会を提供する。</p> <p>④貸室利用の促進を目的とした利用手続きの見直し 利便性向上による貸室利用促進を図る。</p>	<p>①体験型観光・着地型観光との関連性の高いプログラムの開発と実践においては定山渓観光協会に加盟し年間をとおして、事業広報、ホームページ上の特別サイトの開設、インバウンド旅行客への自然の村の紹介業務、ホテルと協働で自然体験活動を含めた宿泊プログラムの企画など定山渓観光協会のサポートにより野外教育施設として定山渓地区での活動領域を大幅に広げることができた一年となった。</p> <p>②札幌市内児童会館への自然体験活動プログラムの提供においては年間をとおして森と人との関わりについて学びを深めるプログラムを13館 533人の子どもたちに対して提供することができた。</p> <p>①スペシャルニーズモニターキャンプとして、市内養護学校に通学する児童とその家族を対象に体験活動機会の平等化を意識した自然体験活動プログラムの提案と実践を行った。事業終了後、参加保護者、見学者として事業に参加した札幌市内養護学校教諭より今後の事業展開の参考となる提案があり次年度以降に向けて基礎作りとなつた。</p> <p>②促進事業として体験活動の専門家を招いて幅広い年齢層を対象に事業を展開した。参加者の多くは新規の利用者で事業に参加することで宿泊にも繋がるきっかけとなつた。</p> <p>③こども事業課の札幌まなびのサポート事業における野外体験活動の支援を実施した。プログラム提案と指導をとおして3区47人の中学生に対して行った。</p> <p>④貸室事業におけるキャッシュレス決済の導入においては令和元年度利用者動向を調査し運用方法について検討した。新年度運用開始に向けて準備を進めた。</p>
共通目標	<p>①利用者総数 24,400人 ②事業プログラム参加者総数 10,900人 ③参加者アンケートにおける満足度 97%</p>	<p>①23,332人 (95.6%) ②16,144人 (148.1%) ③97.6%</p>
数値目標	<p>①スペシャルニーズを持つ団体への支援 3件 ②冬季野外活動の提案 25% (下期利用率) ③セルフモニタリング調査 300件</p>	<p>①4件 (133.3%) ②29.2% ③300件 (100.0%)</p>
部門目標		



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

他1 目的外での施設貸与等事業

重点目標	内容	達成状況
	<p>【地域活動等事業】 パッケージドプログラムのプログラム開発を行い、団体への一部提供を行う。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①新たな視点を取り入れた野外学習プログラムの普及に寄与する。 ②利用者向けプログラムの質的向上を見据えた事業展開を行う。 ③関係機関との連携強化を図る。 ④利用促進計画を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・道内小・中学校、高校の利用促進に向けた積極的なPR活動を行う。 ・認定こども園、民間企業の社員研修、大学ゼミ・サークルに積極的なPRを行い、特に閑散期（4月、11月、12月、3月）の利用促進を図る。 ・利用対象を絞り一般団体にPR活動を行う。（よさこい、少年スポーツクラブ、中学、高校などの吹奏楽部など） 	<p>防災サバイバル体験プログラムの開発を行ったほか、SDGs（持続可能な開発目標）を理解するためのワークショップを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災体験プログラムについて引き続き研究・開発を進めたほか、SDGsの啓発や地域資源の活用等の普及を図るべく、事業実施を交えながら研究・開発を進めた。 ②主催事業で実施した軟石クラフトや防災体験は、利用団体向けプログラムとして活用できる形で実施した。 ③滝野すずらん丘陵公園主催事業への協力や芸術の森地区連合会との協働による事業を実施した。 ④大学生へ向けて提供プログラムを案内したほか、PR用のリーフレットを整備した。また、SNS（Facebook）を活用し施設運営の様子を公開するなど、施設利用の魅力発信に努めた。
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者総数 74,000人 ②事業プログラム参加者総数 11,400人 ③参加者アンケートにおける満足度 86% 	<ul style="list-style-type: none"> ①59,601人（80.5%） ②14,494人（127.1%） ③95.8%
部門目標	①閑散期の一般利用団体数 60団体	①42団体（70.0%）



重点目標	内容	達成状況
	<p>【地域活動等事業】 男女共同参画の推進、市民活動の促進などに関する活動をさらに発展させるため、国や関係機関との連携を念頭に置いた取り組みの実施。</p> <p>【施設運営等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画センター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等達成に向けた取組みを実施する。 ・企業や組織における女性の活躍推進に向けた支援機会を提供する。 ②市民活動サポートセンター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動の希望者層や潜在層への啓発やきっかけづくりを支援する。 ・想いを共有することができる機会や場の提供を図る。 ③環境プラザ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな団体との連携による展示コーナーの活用を行う。 ・市内の環境保全の波及効果を狙った指導者向け研修を実施する。 ④情報センター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 関連事業を展開する。 	<p>女性向けコワーキングスペース新規登録者が増えていること、女性の起業支援が全国的に評価される等、これまで蓄積してきたノウハウやネットワークを活かした事業運営が実現できた。また、子育て中などさまざまなライフステージにいる女性のニーズや、時世と企業のニーズに応じた働き方を共に考え提案することを通して、利用する市民や企業からの信頼を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国際的な課題を、多様な立場から考える機会を提供することで、市民に社会課題を自分ごととして課題解決への主体的な取り組みを促し支援することができた。また、企業や学校など主催者のニーズや課題を聴き取り、効果的な学びの場を提供することができた。職員が出向くことに重点を置いたことで、情報が届きにくく、男女共同参画に関心をもつ機会がなかった市民に対して啓発の機会を提供することができた。 ②「潜在層や活動希望者層に対する啓発」から「実践」につながるよう事業を連動させたことで、スムーズにスタートアップ支援をすることができた。 ③参加対象枠を「指導的立場で多くの人と関わり情報を伝えることができる方」として拡大実施したことで、食育教室の職員や学生等、さまざまな市民の参加があった。環境分野と直接関連することが少ない市民の普段の活動や事業にも、環境保全の視点を取り入れて広める機会を提供することができた。 ④視聴覚資料を活用した啓発事業を 22 回実施（参加者延べ 1,355 人）した。
共通目標	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者総数 641,000 人 ②事業プログラム参加者総数 70,000 人 ③参加者アンケートにおける満足度 86% 	<ul style="list-style-type: none"> ①573,218 人 (89.4%) ②65,605 人 (93.7%) ③施設満足度 91.0%、接遇満足度 94.0%
数値目標 部門目標	<ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画センター 有料貸室利用率 86% ②市民活動サポートセンター 市民活動相談件数 年間 600 件 ③環境プラザ ・環境活動の機会提供 55 回 ④情報センター事業 ・SDGs（「男女共同参画」「市民活動」「環境保全」「消費生活」等）の意識啓発につながる取り組み 12 回 	<ul style="list-style-type: none"> ①72.7% ②515 件 (85.8%) ③48 回 (87.3%) ④22 回 (183.3%)



公1 青少年の健全育成と社会参加、体験活動等に関する事業

収1 イベント・物品貸与等事業

	内容	達成状況
重点目標	<p>【地域活動等事業】</p> <p>①財団内他部門との連携を視野に入れた、企画事業課業務の財団内への周知及び広報を図る。</p> <p>②財団全体の特色が発揮できる、事業受託に向けた積極的な取り組みを行う。</p> <p>③既存広報媒体の更なる有効活用を実施し、財団の認知度向上を図る。</p>	<p>①水道フェスタや下水道科学館フェスタなど、他課と連携して実施した事業については、事前の打ち合わせ等十分に図ることができ、企画事業課の状況などを理解していただくことができた。</p> <p>②札幌市の入札情報やこれまでのつながりを活かした情報収集により、「夏休み歴史探検隊」や「手稲鉄北防災マップ活用事業企画運営業務」等、新規事業を受託することができた。</p> <p>③財団内広報誌きょうかいナウのリニューアルや、雪まつり事業を活用した児童会館向け事業展開による認知度向上を図ることができた。</p>
共通目標 数値目標	<p>①利用者総数 該当なし</p> <p>②事業プログラム参加者総数 4,100人</p> <p>③参加者アンケートにおける満足度 90%以上</p>	<p>①該当なし</p> <p>②3,408人 (83.1%)</p> <p>③92.9%</p>
部門目標	<p>①イベント収益総額 8,000万円</p> <p>②事業全体の収益率 35%以上 (2,800万円以上)</p> <p>③他課連携事業数 4回</p>	<p>①7,792万円 (97.2%)</p> <p>②45.7% (3,557万円)</p> <p>③8回 (200.0%)</p>



5. 各課（各施設）の事業実施報告

（1）こども事業課・こども育成課【指定管理事業：児童会館 108 館】

【受託事業：ミニ児童会館 92 館／放課後子ども館 1 館】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	<p>「東雁来児童会館ボランティア育成・中高校生支援事業 高校生交流キャンプ」</p> <p>東雁来児童会館を利用する高校生ボランティアによる企画運営事業として交流キャンプを実施した。不登校、中退といった問題を抱える参加者も、滝野自然学園を会場に同世代の参加者が協力して作業を行い交流と学びを深めた。体験活動の貧困や、居場所づくりといった問題に取り組みたいというボランティアの思いが形となつた。</p>	6/1、6/2 滝野自然学園 17人 (内ボランティア7人)
	<p>「中央区合同行事 水道フェスタ 2019」</p> <p>札幌市の施設である水道記念館主催事業に中央区の児童会館が合同行事として参加し、水に関するあそびコーナーを子ども運営委員会メンバーが協力して運営した。地域における関係施設との連携を深め、こども運営委員会の活動の活性化を促進した。</p>	6/23 札幌市水道記念館 87人
	<p>「えほん贈呈式」</p> <p>平成 27 年より道路工業㈱から各児童会館に絵本の寄贈をしていただき、平成 29 年には全館に寄贈いただいた。道路工業株式会社より今年度以降も継続して寄贈を行いたいとの申し出があり、今回は中央区と豊平区にて贈呈式を実施した。当日は、児童がダンスを披露し、感謝状を渡して、絵本のお礼を伝えた。</p>	11/12、11/15 山鼻児童会館 天神山児童会館 84人
	<p>「豊平区児童会館 にじりんプロジェクト中高校生事業 『e スポーツ体験会』」</p> <p>e スポーツの先駆的な活動で有名な札幌新陽高等学校の協力のもと中高生の興味、関心を深めるとともに、スポーツ以外の活動目的で来館する中高生の増加を期待し開催した。参加者は想定より少なかったものの、e スポーツの普及に力を入れている札幌新陽高等学校に活動の場を提供するとともに、児童会館に初めて来た利用者に児童会館を知ってもらう機会となり目的は達成できた。</p>	1/7、1/9 美園児童会館 福住児童会館 11人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「児童会館全館統一事業 プルタブ大作戦 『むかわ町 車いす贈呈式』」 社会貢献事業として『プルタブ変身大作戦』を実施し、胆振東部地震の被害があったむかわ町において、車いすが不足していることから社会福祉協議会へ2台の車いすを贈呈した。2005年から実施してきた統一事業はこれまでに公共施設や小学校、震災被害のあった厚真町とむかわ町等、84台の車いすを贈呈した。	2/6 むかわ町社会福祉協議会
	「里美地区『5館合同 子ども会議』」 里塚・美しが丘地区にある児童会館5館でそれぞれ活動している子ども運営委員会の児童が一堂に集まり、今年度の活動の振り返りを発表した。各運営委員会の企画で遊びを紹介し、遊びをとおして子ども同士が交流することができた。最初は緊張していた児童も時間の経過に伴い、表情も柔らかくなり一体感を持って活動することができるようになっていた。参加者にとっては、自分たちの現状を知り、今後の活動への弾みとなる有意義な会となった。	2/15 里塚・美しが丘地区センター 多目的室 32人

令和元年度 札幌市児童会館(108館)およびミニ児童会館(92館) 利用状況

(1)利用状況

区分	開館日数及び回数(延べ数)	人 数	利 用 人 数 の 内 数					
			幼児	低学年	高学年	中学生	高校生	一般
児童会館	30,530	2,253,034	161,551	1,390,815	357,222	64,306	38,786	240,354
ミニ児童会館	26,396	1,447,245	5,517	1,161,469	253,196	1,562	1,642	23,859
占用利用	9,776	141,814	7,060	24,785	30,678	20,689	3,119	55,483
総 利 用	3,842,093	174,128	2,577,069	641,096	86,557	43,547	319,696	

総利用人数(前年度 4,064,130人・前年比 94.5%)

(児童クラブ在籍数)

区分	平成31年度3月末日現在の在籍数							延べ入会	延べ退会	令和2年3月末日現在の在籍数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
在籍人数	5,972	5,216	3,792	2,261	956	393	18,590	23,634	5,019	6,284	5,554	4,268	2,492	1,200	481	20,279

3月末日現在の在籍数の比較(前年比 109.1%)

(障がい児受け入れ数)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	内訳	
								クラブ	直来
普通学級	144	125	121	107	74	34	605	506	99
特別支援学級	101	69	94	80	58	37	439	279	160
特別支援学校	4	5	4	9	3	0	25	22	3
計	249	199	219	196	135	71	1,069	807	262

(前年度 904人・前年比 118.3%)

(2) こども劇場課【指定管理事業：こぐま座・やまびこ座】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「中島児童会館一体連携事業【こぐま座】」 歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、あらためて札幌にとっての子どもの健全育成を図るための総合中心拠点として、全市的な市民 PR を含め、広域的、先駆的な事業展開と人材育成を中心とした取り組みを行った。	7/6～1/31 中島児童会館、 こぐま座、 資料室 MA・S0・B0 6,555 人
公演事業	「プロデュース人形劇『北海道の創作人形劇』公演【共通】」 子どものための専門劇場として、やまびこ座・こぐま座がプロデュースした人形劇作品を、児童会館等で上演することをとおして施設を PR するとともに、子どもたちが北海道の歴史や文化について学ぶ機会となった。	7/29～1/17 飯田文化会館、飯田公民館、こぐま座、市内児童会館 8 館 1,352 人
	「やまびこ座・こぐま座 巨大人形劇シリーズ【共通】」 子どもの権利条例施行 10 周年記念イベントにて、巨大人形劇「ピノキオ」を上演した。人形劇に関わる子どもたちの体験活動や成長の場となった。2月には、「雪あかり in 中島公園タイアップ事業」として中島公園で冬の野外人形劇を実施した。野外人形劇をとおして、市民の方々へ中島児童会館・こぐま座を知っていただくとともに、日頃から中島児童会館・こぐま座で活動している子どもたちの活動発表の場とした。	7/29～2/9 中島児童会館（かもくま祭）、飯田文化会館、飯田公民館、サッポロファクトリー、中島児童会館（ゆきあかり） 4,178 人
	「企画展示【共通】」 北海道立文学館にて、やまびこ座、こぐま座で展示している人形や衣装、仮面、また各劇団の人形を展示した。期間中は無料の公演を行ったほか、公演後にはワークショップを実施した。	11/16～1/13 北海道立文学館 2,265 人
	「第 48 回札幌人形劇祭【やまびこ座】」 道内及び札幌で活動する人形劇団による、コンクール形式の連続公演。「大人部門」と「こども部門」の 2 部門に分かれ、全 26 団体が上演した。経験豊かな審査員と、観客によって審査が実施された。ほかに、審査員によるワークショップも同時開催した。	11/23～11/24 やまびこ座 659 人
国際交流事業	「OKHOTSK（オホーツク）欧州公演」 やまびこ座プロデュース人形劇作品の一つである「OKHOTSK～終わりの楽園～」をヨーロッパ 3ヶ国において上演。さらに、スロバキアでは人形浄瑠璃デモンストレーション公演を同時上演した。チェコの芸術大学、ポーランドのフェスティバルでは人形浄瑠璃ワークショップを実施した。現地の方々と身近に交流を図りながら、日本の優れた伝統芸能を紹介することで、それぞれの文化の相互理解を深め、未来につながる国際交流となった。	5/14～5/27 チェコ、ポーランド、 スロバキア 693 人

令和元年度 札幌市こども劇場利用状況報告

■こどもの劇場「やまびこ座」

【利用状況】

区分	件数(件)	人数(人)
ホール	509	22,418
会議室	270	2,825
研修室	434	5,834
美術工作室	484	5,172
ロビー・展示室・図書コーナー	-	8,085
研修・見学	-	132
総利用数	1,697	44,466

利用件数 前年度: 938件 前年比: 180.9%

利用人数 前年度: 30214人 前年比: 147.2%

【ホール利用内訳】

観劇者数	無料(人)	1,269
	招待(人)	927
	有料(人)	11,553
	合計(人) ... (a)	13,749
出演者の数(含むリハーサル)(人)	... (b)	8,669
出演者観劇者総数(人)	... (a+b)	22,418
上演回数(回)		175
上演日数(日)		117
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		125
上演1回あたりの観客数(人)		79

■こども人形劇場「こぐま座」

【利用状況 (ホール利用内訳)】

観劇者数	無料(人)	1,077
	招待(人)	521
	有料(人)	8,327
	合計(人) ... (a)	9,925
出演者の数(含むリハーサル)(人)	... (b)	2,054
出演者観劇者総数(人)	... (a+b)	11,979
研修・見学	... (c)	19,538
利用者総数	... (a+b+c)	31,517
上演回数(回)		192
上演日数(日)		120
仕込み・リハーサル・研修日数(日)		167
上演1回あたりの観客数(人)		51.7

利用人数 前年度: 30631人 前年比: 102.9%



(3) 若者支援事業課【指定管理事業：若者支援施設 5 館】

①各館の取り組み

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	「Youth+札幌にじーず」(Youth+センター) 他団体と協働しながら新たな社会課題に着手する事業の一環として、非営利団体「にじいろほっかいどう」とともに、若年 LGBTs 当事者向けの居場所づくり事業を実施した。トークセッションとボードゲームなどを通じたレクリエーションを実施し、交流のきっかけとした。事業後には支援者とのケースミーティングを実施した。	4/7～月 1 回程度 (延べ 13 回) Youth+センター 延べ 314 人 (若者:258 人、一般:56 人)
	「自分を好きになるワークショップ」(Youth+豊平) 人気漫画「宇宙兄弟」をモチーフにした『宇宙兄弟 今いる仲間でうまくいく チームの話』の著者である 長尾 彰氏を講師としてお招きし、自分を好きになるということについて考える機会とした。グループでの活動を通じて、自身の行動の良い面・悪い面を見つめなおした。参加した若者にとっては、他者との関わりを通じて自分自身について考えるきっかけとなった。	2/2 Youth+豊平 25 人
社会参加促進事業	「若者団体伴走支援」(Youth+宮の沢) 地域・社会課題に取り組む若者団体の伴走型支援を行い、他者へ社会的影響を与える機会をプロデュースした。大学生グループから、高校生を対象に進路について考えるイベントを行いたいと申し出があり、さっぽろスマイルキッズへの助成金申請からイベント当日の運営までサポートした。終了後の振り返りでは、大学生から次回開催に向けての具体的な改善点などがあがるなど、イベント実施を通じた成長の様子がうかがえた。また、参加した高校生からは「将来に対する考え方が変わった」等の声が聞かれた。	11/1 ~12/7 Youth+センター 15 人 (大学生 3 人、 当日参加者 12 人)

②Youth+全館

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	「Youth+10 代みんなの〇〇部」 10 代の若者に向けて、学校や家庭以外の所属先を作ることを目的に、特に学校の部活動に所属していない若者に向けて、部活の代替体験機会となる受け皿型の事業を、Youth+全館で展開している。スポーツ活動など動的な活動もあれば文化的な活動もあり、バリエーション豊かに実施している。	4/1～各館週 1 回程度 (延べ 132 回) Youth+各館 延べ 981 人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
交流促進事業	<p>「プロと YouTuber に学ぶ！サイキヨードウガクリエイター講座」</p> <p>動画配信を始めてみたい若者や動画制作のクオリティを上げたい経験者にむけて、動画制作・配信の指導を受ける連続講座を実施した。炎上リスクなどに対する正しい知識を身につけながら、Youth+の紹介動画の制作を通じて、映像制作のノウハウを学んだ。開催記念の公演では、YouTube への動画配信で有名になった、札幌出身の若者を擁するボーカルグループ「aoiro」より、動画配信の経緯やポイントについて紹介いただいた。2/29 以降は、コロナウィルスの影響を受け、YouTube でのオンラインセミナーとした。</p>	1/25～3/7 (全 6 回) Youth+センター 延べ 62 人 (記念公演 43 人 実践編 19 人)
その他事業	<p>「学校内ユースワーク事業ドーリープレイス番外編 クリスマスパーティー in Youth+センター」</p> <p>学校内居場所カフェを実施している市立札幌大通高等学校の生徒を対象に、クリスマスパーティーを実施した。Youth+の周知として実際に居場所を体感してもらう機会を設けた。在校生の他、卒業生の参加もあり、運営には居場所カフェと共に運営する PTA 会長にも協力をいただいた。Youth+が初利用となる参加者もおり、その後の施設利用に繋がった。</p>	12/2 Youth+センター 26 人

令和元年度若者支援施設利用状況

単位：人

内訳	センター	アカシア	ポプラ	豊平	宮の沢	合 計
自立支援事業	16,596	0	0	0	0	16,596
若者	12,269	0	0	0	0	12,269
一般	4,327	0	0	0	0	4,327
交流促進事業	7,350	2,921	2,791	3,395	3,409	19,866
若者	7,191	2,895	2,789	3,354	3,408	19,637
一般	159	26	2	41	1	229
社会参加促進事業	876	1,882	1,886	1,374	6,623	12,641
若者	876	1,389	1,671	881	5,620	10,437
一般	0	493	215	493	1,003	2,204
ロビー利用	13,812	4,575	7,160	7,812	12,992	46,351
若者	13,314	4,362	6,550	6,990	10,974	42,190
一般	498	213	610	822	2,018	4,161
貸室利用	30,998	40,093	9,730	33,246	55,602	169,669
若者	22,752	33,762	6,413	26,772	32,876	122,575
一般	8,246	6,331	3,317	6,474	22,726	47,094
合 計	69,632	49,471	21,567	45,827	78,626	265,123
若者	56,402	42,408	17,423	37,997	52,878	207,108
一般	13,230	7,063	4,144	7,830	25,748	58,015
平成30年度	69,073	49,150	20,064	46,390	86,729	271,406
各施設前年度比	100.8%	100.7%	107.5%	98.8%	90.7%	97.7%

(4) 企画事業課【地域活動等事業：野外活動系事業、自主事業：滝野自然学園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「たきの森のようちえん」 2歳以上の乳幼児とその保護者を対象とした自然体験事業。森のお散歩の他、毎回テーマ活動を行い、森を中心とした自然体験の機会を持つことで健やかな成長を目指すとともに、親同士の交流を促し、育児に対する不安や負担を緩和していただくことを目的に実施した。	5月～2月（20回） 滝野自然学園 延べ762人
	「川のがっこう」 小学3年生～6年生の自然体験活動事業として実施した。札幌市内の河川をフィールドに水生生物観察や川あそびやを通して、自然の素晴らしさ、不思議さを実感し、自然との共生、自然保護の意識を高めることを目的に実施した。	6月～8月（全3回） 滝野自然学園、西岡公園、精進川、中の川 延べ72人
	「児童会館キャンプ」 児童会館のクラブ員を中心とした子どもたちを対象にした自然体験活動。児童会館部門との連携により、事業効果の最大化を目指し、質の高い体験活動を行うことを目的に実施した。	7/28～7/31 水辺の里財田キャンプ場 延べ117人
	「お父さんと過ごす週末キャンプ」 自然活動体験をとおして父親と子どものコミュニケーション機会の創出を目的に実施した。冬回（氷瀑編）は、氷瀑見学をメインとして実施した。夏回（カヌー編）からのリピーターが多く、冬ならではのアクティビティを十分に楽しんでいた。	7/20～7/21 1/11～1/12 滝野自然学園 32組73人
職員派遣事業	「手稻タンケンツアー」 手稻区からの事業として、昨年度に引き続き5年目の受託となった。手稻区で実施しているアイディア絵画展の受賞者を対象に実施され、「歴史・自然・未来」をテーマに手稻区内をツアーフォーマットで回り、参加者が普段住んでいる地域に興味関心を持ち、愛着を持ってもらうことを目的に行った。当日はテーマに沿った3か所を回り、手稻区をより深く知つてもらう機会とした。	10/14 手稻区役所 滝の沢斜坑 星見緑地 北海道科学大学 44人
	「『花川マリア認定こども園』講師派遣業務」 滝野自然学園のSNSから受託につながった事業。花川マリア認定こども園より、直接連絡をいただき受託に至った。縦割りクラスの2クラスの幼児を対象とした自然体験活動を実施した。屋外の活動と屋内でのレクリエーションを通して、自然体験活動を実施した。	11/15 花川マリア認定こども園 57人

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
職員派遣事業	「『新さっぽろ冬まつり 2020』会場制作及び指導員等の派遣業務」 会場制作および小学校における雪像制作ワークショップを厚別区市民部地域振興課より受託した事業。ひばりが丘小学校3年生が制作に参加し、仲間と力を合わせて作ること、お客様をイメージすること、何よりも安全に作業をすることを重点的に確認する場となった。完成した際には仲間たちと喜び合い、お祭り当日に友人や家族と来ることを楽しみにしている様子であった。	制作体験 1/21、1/23 事業当日 1/25、1/26 ふれあい広場あつべつ 112人
	「冬季親子レクリエーション事業『親子でわくわく冬あそび』」 さぽーとさっぽろ（中小企業共済センター）からの受託事業。参加者、主催者から好評を得ていた夏季のカヌープログラムの実績から、冬季についても同様に親子レクリエーション活動の依頼を受け実施した。メインプログラムにスノーラフト、スノーチューブ、ピザ焼き体験を行った。また、裏山探検を行い、動物の足跡やクマゲラの巣を探すなど、親子で楽しめるプログラムを実施した。	2/16 滝野自然学園 15組 40人

令和元年度滝野自然学園 利用集計（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人 数	39	936	411	909	1,298	749	558	209	142	651	380	0	6,282
団体数	1	13	10	11	14	12	10	4	3	11	6	0	95

前年度比 延べ人数：94.8%（前年度人数6,630人）

団体数：82.6%（前年度団体数115団体）



(5) 野外活動課【指定管理事業：北方自然教育園】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
体験機会創出事業	「ロビーで簡単工作会」 本年度より、事業を通年実施した。雨天時など屋外での活動が制限される状況においても自然素材を利用し年齢関係なく楽しめる環境を整備したことで、施設利用の増加に繋がり併せて新規利用者の獲得に繋がる機会となった。	4/26～2/28 北方自然教育園 延べ 210 人 ※3/1～3/31 臨時休園
	「北方ファーム ジャガイモ比べ隊」 北海道になじみの深いジャガイモをテーマに複数品種の植え付け、生育観察、収穫などの農業体験から食の大切さ、北方圏の農業について学ぶ機会を提供した。	5/12、7/14、9/8 (全 3 回) 北方自然教育園 35 人
	「体験農場」 畑、水田希望校に対して学習要領に則した体験授業を実施した。水田の体験学習では説明用のパネルを大型にし、より視覚的に児童たちに働きかけ理解力向上に繋がる結果となった。出前授業においては足踏みでの脱穀や精米作業の観察だけでなく、昔ながらの手法での瓶搗き精米やすり鉢での精米体験なども行った。もち米についての学びの他、社会科の工業の要素を取り入れた体験を行い、学習効果の高いプログラムを提供することができた。	6 月～11 月 北方自然教育園他 56 校 延べ 2,999 人
	「家族で作る！『新年しじめ飾り作り』」 本事業は菅を編み込み、縄を作るところから体験するプログラムを実施し、家族でコミュニケーションをとり、協力しながら進めていった。飾りつけの際にはしじめ飾りの由来や各種縁起物についての解説をしたことにより、風習・伝統文化について考える機会を提供できた。また、実施回数を増やしたことにより、多くの家族が参加し、好評をいただいた。	12/14、12/15 北方自然教育園 延べ 120 人

令和元年度 札幌市北方自然教育園 月別利用状況一覧表

月	施設利用				体験農場		自然体験 学習会		自然 ふれあい 事業		その他事業等 (ボランティア等)		事業		合計				
	学校・園		一般		小計				小計										
	校数	人数	団体	個人 人数	人數計	団体	人数	枝数	人数	組数	人数	組数	人数	組数	人数	組数 (団体)	人数		
4	0	0	0	0	270	270	0	270	0	0	0	1	4	0	23	1	27	1 297	
5	3	133	3	302	440	742	6	875	3	133	11	41	7	28	0	31	18	100	27 1108
6	14	938	2	47	279	326	16	1264	14	938	10	32	5	18	0	244	15	294	45 2496
7	2	53	3	165	291	456	5	509	2	53	11	39	27	88	1	61	39	188	46 750
8	1	43	7	238	468	706	8	749	1	43	16	52	6	23	1	22	23	97	32 889
9	7	409	2	31	263	294	9	703	7	409	3	13	5	18	1	68	9	99	25 1211
10	19	727	7	218	267	485	26	1212	18	721	11	36	0	0	1	61	12	97	56 2030
11	1	13	1	32	91	123	2	136	10	546	10	34	4	44	3	128	17	206	29 888
12	3	4	1	12	31	43	4	47	1	156	39	120	0	0	0	4	39	124	44 327
1	0	0	2	38	56	94	2	94	0	0	0	0	3	9	0	3	3	12	5 106
2	0	0	3	108	42	150	3	150	0	0	0	0	5	64	0	8	5	72	8 222
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0	
合計	50	2,320	31	1,191	2,498	3,689	81	6,009	56	2,999	111	367	63	296	7	653	181	1,316	318 10,324

前年度比

人数: 91.7% (前年度人数 11,261 人)

組数: 98.5% (前年度組数 323)

(6) 野外活動課【指定管理事業：定山渓自然の村】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
地域活動等事業	「ようこそ児童会館」 札幌市内児童会館への自然体験活動プログラムの提供においては年間をとおして森と人との関わりについて学びを深めるプログラムを提供した。当初は下半期8館の申し込みがあったが、新型コロナウィルスの影響により4館が中止となった。	10/26、11/2、11/17 4館延べ136人
	「冬季テント泊チャレンジプラン」 冬季キャンプ推進の一環としてキャンプ初心者を対象に、テント泊体験および冬季アクティビティ体験を提供し冬季キャンプの利用促進を図る機会を提供した。当日は3種類のテントを使って宿泊体験を実施し、キャンプで活用可能な防災食体験などを行った。	1/18～1/19 7組21人
学びの場を提供する事業	「森の探検隊」 森林管理署と事業協定を締結している「定山渓遊々の森」において森林環境教育プログラムを展開。森の植生や定山渓地区の歴史、源泉探索など森からの学びを身近な自然や地域環境への理解に繋げる機会を提供した。	7/21、8/25、9/7 定山渓自然の村 13組42人
野外での子育て支援を行う事業	「親子で『こそ練キャンプ』」 キャンプ未経験の親子を対象にキャンプに必要な道具の使い方を練習する機会を提供した。また今年度は冬季キャンプ促進事業の一環として厳冬期前の12月にテント泊の方法や道具の紹介などを行った。 「親子で冬キャン!!」 冬季キャンプ促進事業の一環として厳冬期における雪中テント泊体験、スノーアクティビティ一体験を行った。-10℃を超える環境下で挑戦や協働を分かち合える体験を提供し、家族の絆を深める機会となった。	12/15 3組10人 2/15～2/16 5組14人
その他、施設運営を達成するために必要な業務	「他施設連携事業」 地域、企業、札幌市関係部局と連携し、市民向けにアウトドアプログラムを展開した。野生動物、天体観測、食育体験など幅広い分野の関係団体と連携を強化し野外教育施設の可能性を拡大する機会となった。 ①ヒグマ痕跡探しツアー 全3回 ②ファイターズGO!GO!BBQイベント 全1回 ③天体観望会 全1回	①5/17、8/2、9/11 ②8/6 ③8/13 定山渓自然の村 207人 【連携先】 ①札幌市環境局 ②日ハムグループ・コーポさっぽろ ③札幌市青少年科学館

令和元年度施設利用状況

<利用件数>

(件)

区分	令和元年度	平成30年度	前年度比
コテージ	2,770	2,437	113.7%
テントハウス	1,247	1,092	114.2%
テントサイト	3,384	2,707	125.0%
合計	7,401	6,236	118.7%

<利用人数>

(人)

区分	令和元年度	平成30年度	前年度比
コテージ	10,344	9,259	111.7%
テントハウス	5,197	4,508	115.3%
テントサイト	7,407	6,231	118.9%
見学者	384	414	92.8%
合計	23,332	20,412	114.3%



(7) 野外活動課【指定管理事業：青少年山の家】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
青少年キャンプ事業	「防災サバイバルキャンプ」 有事の際に生き抜く手立てを体験的に楽しみながら学習するとともに、便利なくらしを見つめ直し、自助・共助の精神を育むことを目的に実施。屋外でのテント泊や自然物を使った火起こし体験などを行った。	6/15～6/16 9/28～9/29 2/1～2/2 青少年山の家 延べ 49 人
	「青少年の抱える課題解決に向けた事業」 自然体験活動をとおして、課題を抱える青少年の問題解決のきっかけづくりとして実施。こども事業課と連携し、「まなべえ」の参加者を対象に、炊事体験や秋をテーマにした自然体験プログラムを行った。互いの部門の特徴を生かし、連携して事業運営することができた。	10/13 青少年山の家 33 人
	「学校教育と連携した野外教育プログラム普及・開発事業」 学習指導要領と連動した野外教育プログラムの試用、効果検証をはかることを目的に実施。常盤児童会館と連携し、算数の長さや時間をテーマにした自然体験プログラムを行った。児童を対象にしたアンケート調査で、プログラムの印象などの確認ができ、今後の利用者プログラムの開発を進める良い機会となった。	11/16 青少年山の家 26 人
生涯学習事業	「公園と連携した自然体験プログラム」 自然豊かな公園フィールドを利用した体験プログラムを実施することで、動植物や自然環境に対する理解を深めることを目的に実施。公園事業に参画し、防災プログラムを展開した。施設で取り扱っているプログラムを実施することで、広く市民に施設理解を促すことができた。	6/30、2/16 滝野すずらん丘陵公園 1,040 人
	「地域交流事業」 施設運営への理解を促し、愛される施設づくりを目指すことを目的に実施。芸術の森まちづくりセンターと連携し、近隣町内会に携わる方々を対象に、防災体験プログラムを実施した。主催事業を実施していることを体験してもらうことで、施設に対する理解をより深めてもらうことができた。	11/21 青少年山の家 14 人
自主事業	「パッケージドプログラム出張事業」 プログラムの直接指導をとおして、青少年の健全育成や野外教育の普及振興に寄与することを目的に実施。ヒグマ・エゾシカトラックキットプログラムや小学校での環境教育プログラムの提供を行った。	7/25、8/7、8/30、9/6、9/9、9/14、9/25 市内児童会館、市内小学校 延べ 264 人

令和元年度 札幌市青少年山の家利用状況

項目	合計			
	団体数	実利用者数	延利用者数	
学校	幼稚園等 (4歳以上)	17	378	575
	小学校	349	23,247	37,172
	中学校	47	2,990	3,750
	高校	12	1,254	2,531
	盲聾養護学校	2	93	162
	専門学校	1	64	128
	大学	2	17	32
	その他の学校	0	0	0
青少年団体	少年団体	39	1,848	3,106
	青年団体	18	836	1,511
指導者団体	学校教育関係	2	257	257
	社会教育関係	4	354	708
親子		9	156	286
官公庁		24	1,169	2,059
その他		83	2,909	5,300
主催事業		25	1,866	2,024
計		634	37,438	59,601

団体数 (前年度 810件、前年度比 78.3%)

実利用者数(前年度 44,612人、前年度比 83.9%)

延利用者数(前年度 73,366人、前年度比 81.2%)

(8) 市民参画課【指定管理事業：札幌エルプラザ公共4施設】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
ネットワーク支援事業	<p>「男女共同参画団体支援事業」</p> <p>男女共同参画活動団体に対して、組織運営や資金調達などに関する学習機会を提供した。</p> <p>①さっぽろ上野ゼミ「市民活動でジェンダー平等を実現するには」 ②「応援したくなる団体になる～広報戦略」 ③「すそ野は広く、山は高く～ファンドレイジング」 ④「次世代に引き継ぐために」⑤成果発表会</p>	①4/13 ②8/9 ③9/10 ④10/10 ⑤11/2 延べ 95 人 札幌エルプラザ
就労・起業支援業務	<p>「女性リーダー養成研修」</p> <p>企業や組織で働く女性を対象に、チームビルディング、目標設定、ロジカル・シンキング等のスキルアップとモチベーションアップ、ネットワーキングを目指し実施した。</p> <p>①開講講演「女性リーダーの必要性について」 【講師】治部 れんげ 氏（ジャーナリスト） ②研修「自分の強みを認識する～ストレングスファインダー」 【講師】長尾 彰 氏（株）ナガオ考務店 代表取締役) ③研修「自分らしいWill を描く～中長期でキャリア＆ライフビジョンを描く」 【講師】小安 美和 氏（株）Will Lab 代表取締役) ④研修「問題解決思考を習慣化する」 【講師】藤原 智子 氏（株）チェンジウェーブ取締役副社長) ⑤成果発表および修了証授与式</p>	①10/9 ②10/17 ③11/12 ④12/13 ⑤1/22 延べ 120 人 札幌エルプラザ
研修学習に関する業務	<p>「スタートアップ支援事業 子ども・若者の市民活動促進事業 NPO インターンシップ」</p> <p>新たな市民活動の担い手として若者を対象に、市民活動団体の活動について学ぶ機会を提供することを目的に実施した。</p> <p>（受入団体：NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会、（一社）北海道ブックシェアリング、NPO 法人 ezorock、札幌彫刻美術館友の会）</p>	6/29～3/31 延べ 84 人 受入団体事務所、 札幌エルプラザ
相談業務	<p>「若年層のための相談 ガールズ相談」</p> <p>性やデート DV、進路選択、ネット犯罪など、若年層女性を取り巻く課題を解決し、相談者の自己肯定感を高めることを目的に、LINE を活用した相談窓口を実施した。</p>	8/19～9/1 相談件数：918 件 相談完了件数：185 件
国際交流支援事業	<p>「WILL2LIVE!Cinem パートナーズ 2018 年ノーベル平和賞受賞者ナディア・ムラドドキュメンタリー作品『ナディアの誓い』上映会」</p> <p>男女共同参画の推進にあたり、国際的な情報を持ち多様な事業展開を図るため情報交換や国際交流活動の支援を共催事業等で実施。国連 UNHCR 協会との共催により専門家による講演など、貴重な情報を得る機会となった。</p>	11/30 187 人 札幌エルプラザ

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
「NPOとの出会い」 創出事業	「マチなか×NPO2019」 地下歩行空間や関連施設など不特定多数の方が集う場で、複数の市民活動団体の成果発表を行い、市民活動団体の取り組みを広く市民の方に伝える機会を提供することができた。	12/3～12/5 札幌駅前通り地下歩行空間北3条交差点広場 延べ8,695人
普及啓発企画業務	「環境プラザがやってきた in 『第8回 CISE サイエンスフェスティバル in チカホ』」 出展ブース『マイでんき発電所』において、ペットボトルを使った風力発電機による発電体験や手回し発電機を使ったおみくじなどを実施した。	1/9～1/10 札幌駅前通り地下歩行空間北3条交差点広場 延べ753人
環境保全活動、交流の支援と推進業務	「指導者向け研修「作って使おう！ミツロウエコラップ」」 環境保全の視点を普段の活動や事業に取り入れる機会とすることができた。参加者やスタッフのつながりを作り、今後の環境教育をさらに充実させる機会とすることができた。	2/8 札幌エルプラザ 食材研究室 20人

令和元年度 利用状況総括表

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
セ ン 女 タ ー 共 同 参 画	施設利用	件数	2,486	2,527	2,706	2,742	2,522	2,713	2,583	2,734	2,296	2,327	2,388	1,886	29,910	
		人數	25,531	26,828	29,652	29,378	25,739	32,996	28,263	29,838	25,489	28,676	30,478	7,554	320,422	
	相談事業	人數	16	11	11	15	897	50	13	15	38	236	11	47	1,360	
		件数	0	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	5	
	視察・見学	人數	0	0	0	5	29	0	11	0	0	0	0	0	45	
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設外事業	件数	1	4	1	1	1	2	3	3	1	4	0	2	23	
		人數	65	158	95	16	150	351	61	251	200	61	0	3,997	5,405	
	計	件数	2,487	2,531	2,707	2,744	2,525	2,715	2,588	2,737	2,297	2,331	2,388	1,888	29,938	
		人數	25,612	26,997	29,758	29,414	26,815	33,397	28,348	30,104	25,727	28,973	30,489	11,598	327,232	
セ 消 ン 費 タ ー 者 ー 	施設利用	件数	251	220	255	268	258	259	299	295	276	141	213	203	2,938	
		人數	1,968	1,629	1,918	2,170	1,945	2,039	2,417	2,298	2,259	3,216	1,577	993	24,429	
	相談事業	人數	1,028	1,082	1,077	1,037	1,018	957	1,048	966	976	828	828	930	11,775	
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視察・見学	人數	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	件数	251	220	255	268	258	259	299	295	276	141	213	203	2,938	
		人數	2,996	2,711	2,995	3,207	2,963	2,996	3,465	3,264	3,235	4,044	2,405	1,923	36,204	
	セ サ 市 ン ボ 民 タ ー 活 ト 動	施設利用	件数	1,607	1,518	1,552	1,612	1,449	1,422	1,458	1,374	1,211	1,277	1,181	364	16,025
		人數	5,032	4,812	4,946	4,901	4,337	4,611	4,748	4,957	4,078	4,269	4,322	250	51,262	
	相談事業	人數	39	39	43	32	37	26	42	44	30	72	59	41	504	
		件数	0	0	1	1	0	1	1	0	2	1	0	0	7	
	視察・見学	人數	0	0	1	16	0	11	8	0	11	8	0	0	65	
		件数	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	4	
	施設外事業	人數	0	0	7	0	0	0	0	0	0	8,695	8	0	8,710	
		件数	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	件数	1,607	1,518	1,554	1,613	1,449	1,423	1,459	1,374	1,215	1,279	1,181	364	16,036	
		人數	5,071	4,851	5,007	4,949	4,374	4,648	4,798	5,001	12,814	4,357	4,381	291	60,541	
環 境 ブ ラ ザ	施設利用	件数	175	185	198	211	138	180	184	185	155	165	176	116	2,068	
		人數	2,196	2,236	2,213	2,816	1,411	1,987	2,447	2,369	2,153	2,130	1,911	647	24,516	
	相談事業	人數	7	7	1	12	5	3	8	3	3	5	4	0	58	
		件数	1	3	5	10	9	6	3	4	1	4	0	0	46	
	視察・見学	人數	39	20	134	307	462	230	135	169	6	141	0	0	1,643	
		件数	4,045	2,341	2,714	3,993	3,299	2,605	3,417	3,431	3,201	3,422	3,453	0	35,921	
	展示コーナー	人數	0	83	138	412	118	155	40	15	140	0	6	0	1,107	
		件数	0	0	0	0	3	3	4	0	0	2	0	1	13	
	総合学習	人數	0	0	0	0	1,674	691	562	0	0	775	0	348	4,050	
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	施設外事業	人數	176	188	203	221	150	189	191	189	156	171	176	117	2,127	
		件数	6,287	4,687	5,200	7,540	6,969	5,671	6,609	5,987	5,503	6,473	5,374	995	67,295	
公 共 4 施 設 計	施設利用	件数	4,519	4,450	4,711	4,833	4,367	4,574	4,524	4,588	3,938	3,910	3,958	2,569	50,941	
		人數	34,727	35,505	38,729	39,263	33,432	41,633	37,875	39,462	33,979	38,291	38,288	9,444	420,629	
	相談事業	人數	1,090	1,139	1,132	1,096	1,957	1,036	1,111	1,028	1,047	1,141	902	1,018	13,697	
		件数	1	3	6	12	11	7	6	4	3	5	0	0	58	
	視察・見学	人數	39	20	145	328	491	241	154	169	17	149	0	0	1,753	
		件数	4,045	2,341	2,714	3,993	3,299	2,605	3,417	3,431	3,201	3,422	3,453	0	35,921	
	展示コーナー	人數	0	83	138	412	118	155	40	15	140	0	6	0	1,107	
		件数	0	0	0	0	4	5	7	3	3	7	0	3	40	
	総合学習	人數	65	158	102	16	1,824	1,042	623	251	8,895	844	0	4,345	18,165	
		件数	39,966	39,246	42,960	45,110	41,121	46,712	43,220	44,356	47,279	43,847	42,649	14,807	491,272	
※消費者センター施設利用、相談事業件数に関しては消費者協会分を含む																
情報センター		人數	6,579	5,864	6,710	6,814	6,979	7,322	6,715	9,373	6,738	8,709	10,143	0	81,946	

令和元年度札幌エルプラザ 公共4施設総利用者数	46,545	45,110	49,670	51,924	48,100	54,034	49,935	53,729	54,017	52,556	52,792	14,807	573,218
----------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

前年度総利用者数 616,652人、前年度比 93.0%

(9) 企画事業課【地域活動等事業：自主事業、受託事業】

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
受託事業	<p>「夏休み札幌歴史探検隊」</p> <p>札幌商工会議所より、小学生とその保護者対象の事業ということ で「運営補助」業務として受託。地元に誇りや愛着を持った地域を 支える担い手を育成すべく、小学生が札幌の歴史について学ぶ機会 を創出するとともに、1972年冬季オリンピック開催を契機とした 札幌の街の発展を学ぶ内容とすることで、オリパラ招致の機運醸成 にもつなげることを目的として、実施した。</p>	8/3 真駒内周辺地域 29人
	<p>「第71回さっぽろ雪まつり大通会場10丁目における大雪像制作等業務」</p> <p>さっぽろ雪まつり実行委員会より受託した。大通10丁目会場に 大雪像（サザエさん一家とウィンタースポーツ inSAPPORO）を制作 した。模型制作から雪像制作、解体までを実施し、作業員の手配や ボランティア、札幌市職員の受け入れなどの調整を行った。今年度か ら児童会館の制作体験見学会の受け入れを実施し、他課連携による広 報活動としても展開することができた。</p>	実施期間 2/4～2/12 大通10丁目 ^人 大通会場：1,575,000
	<p>「手稲鉄北地区防災マップ活用事業『遊んで学ぼう！ぼうさいシールスタンプラリー』」</p> <p>手稲鉄北まちづくり協議会より受託した。「防災マップ」を活用 した事業として児童会館と連携し、実施した。スタンプラリーを行 い、消防によるAEDの講話を受け、連合町内会より記念品の配布と ホットココアの提供を行った。</p>	11/16 手稲前田児童会館 あけぼの児童会館 30人
	<p>「『こそだてフェスティバル2019』遊びコーナー運営業務」</p> <p>札幌コンベンションセンター主催の「こそだてフェスティバル 2019」における、遊びコーナー運営業務を行った。折り紙・工作コ ーナーや木のおもちゃ・伝承遊びコーナーを実施した。また、ステ ージコーナーでは「にじりんじゃんけん大会」や児童会館の発表を 実施し、多くの児童会館が参加した。</p>	12/14 札幌コンベンションセ ンター 5,959人
	<p>「冊子編集についての指導業務」</p> <p>札幌国際芸術祭事務局より受託した。札幌国際芸術祭2020の開 催概要等の無料配布の冊子の制作にあたり、必要な編集の知識やス キルについて、札幌国際芸術祭事務局のスタッフに対し指導を行っ た。</p>	3/10 国際芸術祭事務局 5人

(10)その地 地域活動等事業等（こども育成事業、財団連携事業）

事業区分	事業内容	時期・回数・参加人数等
青少年活動支援事業	<p>「札幌まなびのサポート事業『遊學舎 まなべえ』」</p> <p>生活困窮世帯の中学生を対象に市内 40 会場で実施した。事業をおいて、中学生の半数以上がさまざまな人の関わりの大切さや新たな仲間ができたことの喜びを実感し、満足度の高い事業であったことがアンケート結果から読み取ることができ、目的の一つである「一人ひとりに寄り添う」ことに対して重点的に取り組んできたことが事業成果へとつながった。また、学習支援センターにおいても、中学生との関係構築に 100% の達成感を得たメンバーが大半であり、中学生・学習支援センター双方向に効果があり、互いに良い影響を受けることができた事業である。新型コロナウィルス対策のため、当初の予定では 3/31 まで実施の予定だったが、2/25 以降中止となった。中止期間においては、会場コーディネーターを中心に電話連絡等で参加者の様子や卒業後の進路確認等を行った。</p>	<p>6月～週 1 回 会場：市内 40 会場 登録中学生：483 人 学習支援センター 233 人</p>
	<p>「子どものくらし支援コーディネート事業」</p> <p>経済的な問題だけでなく、家庭環境等にさまざまな困難を抱えている子どもやその家庭を早期に発見するため、児童会館はもとより、学習支援団体や子ども食堂等の地域で子どもと関わる関係先を積極的に巡回した。関係先への助言指導、他機関とのケース会議への参加によるネットワーク構築、対象者との面接等を行いながら、子ども・家庭への支援にあたっている。</p>	<p>4/1～3/31 札幌市内 50 地区 相談実件数：457 件</p>



6. 重要な契約に関する事業

(1) 地域活動等事業

(千円)

契 約 の 概 要 (業務名)	相 手 方	契約金額
札幌まなびのサポート事業	札幌市長	43,845
地域若者サポートステーション事業	北海道労働局総務部長	35,743
子どもの暮らし支援コーディネート事業	札幌市長	19,069

(2) 指定管理事業

(千円)

契 約 の 概 要 (業務名)	相 手 方	契約金額
札幌市児童会館及び札幌市こども人形劇場管理業務	札幌市長	3,562,925
札幌エルプラザ公共4施設管理業務	札幌市長	242,057
札幌市若者支援施設管理業務	札幌市長	175,375
札幌市青少年山の家管理業務	札幌市教育委員会教育長	126,660
札幌市定山渓自然の村管理業務	札幌市教育委員会教育長	74,937
札幌市こどもの劇場やまびこ座管理業務	札幌市長	45,388
札幌市北方自然教育園管理業務	札幌市教育委員会教育長	30,062
札幌市栄西小はんのき児童会館管理業務	札幌市長	30,749
札幌市羊丘児童会館管理業務	札幌市長	7,541

(3) 受託事業

(千円)

契 約 の 概 要 (業務名)	相 手 方	契約金額
札幌市ミニ児童会館管理運営業務	札幌市長	1,900,415
女性活躍に向けた働き方改革サポート業務	札幌市長	18,010

7. こども基金（スマイルキッズ）

(1) 協力者一覧

寄付金総額 482,848 円 全 26 件

【法人】 4 件

(円)

寄 付 者 氏 名	寄 付 額
株式会社ハビングループ	100,000
株式会社館野オフィスサービス	50,000
(一財)山鼻福祉センター	10,000
匿名希望	2,050
合 計	162,050

【個人】 11 件

(円)

寄 付 者 氏 名	寄 付 額
個人寄付者	216,000
合 計	216,000

【団体】 11 件

(円)

寄 付 者 氏 名	寄 付 額
共栄第二町内会	15,000
旭町内会	15,000
白石共栄第三町内会	15,000
柏丘町内会	15,000
その他	44,798
合 計	104,798

(2) 助成対象一覧

助成金額総額 2,038,294 円 全 8 件

<スタートアップ事業>

(円)

事 業 名	実 施 団 体	助成金額
4歳からのたのしい科学冬まつり (SAPPORO サイエンスフェスティバル)	NPO 北海道ネウボラ	200,000
桑園こどもDAYプロジェクト	桑園あそびばプロジェクト	200,000
どさんこマーブルタウン	どさんこマーブルタウン実行委員会	199,200
～ちいさなひとのための読み聞かせオペラ～ 知里幸恵と金子みすゞ	accie (アッヂエ)	155,773
将棋を指す場の創出と子どもの可能性を引き 出す事業	さっぽろ将棋普及の会	134,974

<ステップアップ事業>

(円)

事 業 名	実 施 团 体	助成金額
子どものための オペレッタワークショップ実行委員	令和元年度子どものためのオペレッタ ワークショップ	1,000,000
進路、どうやって決めた？	学生団体もちべいたー	30,439
にぶんのいち成人式	ありがとういのち応援プロジェクト	117,908



IV. 事務報告

1. 設立年月日 : 昭和 55 年 4 月 1 日

2. 定款に定める目的

この法人は、人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、もって豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 青少年の健全育成と社会参加に関する事業
- (2) 社会教育の推進に関する事業
- (3) 市民活動の振興に関する事業
- (4) その他法人の目的を達成するために必要な事業

4. 事務所の状況

主たる事務所 : 札幌市西区宮の沢 1 条 1 丁目 1 番 10 号

従たる事務所 : 札幌市北区新琴似 8 条 1 丁目 1 番 34 号 2 階

5. 役員等に関する事項

(1) 理事

理 事 長	野 崎 清 史	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 理事長
専務理事	今 川 道 夫	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会 専務理事
理 事	忍 博 次	北海道社会福祉協議会 前副会長理事
理 事	相 馬 宏 哉	NPO 法人ネイチャープログラムデザイン 理事長
理 事	前 田 元 照	(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長
理 事	菊 地 秀 一	(一社)札幌市私立保育園連盟 会長

(2) 監事

監 事	西 田 史 明	札幌商工会議所 理事
監 事	梅 津 太	税理士

[令和 2 年 3 月 31 日現在 計 8 人]

令和元年度における理事会は、次のとおり 4 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 6月4日	【第 26 回理事会】 1 「平成 30 年度事業報告及び附属明細書の承認」の件 2 「平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録等の承認」の件 3 「令和元年度予算の変更」の件 4 「定時評議員会の日時並びに目的である事項」の件	1 可決 2 可決 3 可決 4 可決
令和元年 11月6日	【第 27 回理事会】 1 「職務執行状況報告」の件 2 「その他報告」の件	1 報告 2 報告
令和 2 年 3 月 5 日	【第 28 回理事会】 1 「職務執行状況報告」の件 2 「令和元年度予算の変更」の件 3 「令和 2 年度事業計画書及び収支予算書等の承認」の件 4 「こども若者応援基金の設置」の件	1 報告 2 可決 3 可決 4 可決

(3) 評議員

評議員 加藤 喜久子	北海道情報大学 教授
評議員 菊池 恒	札幌市商店街振興組合連合会 理事相談役
評議員 西田 充潔	北星学園大学 教授
評議員 濱口 登代喜	(公財) 北海道青少年育成協会 専務理事
評議員 林 美枝子	日本医療大学 教授
評議員 荒山 瞳子	札幌市 PTA 協議会 副会長
評議員 秦 直樹	(社福) 札幌市社会福祉協議会 評議員
評議員 箭原 恭子	(公社) 札幌市母子寡婦福祉連合会 理事長
評議員 梶井 祥子	札幌大谷大学 教授

[令和 2 年 3 月 31 日現在 計 9 人]

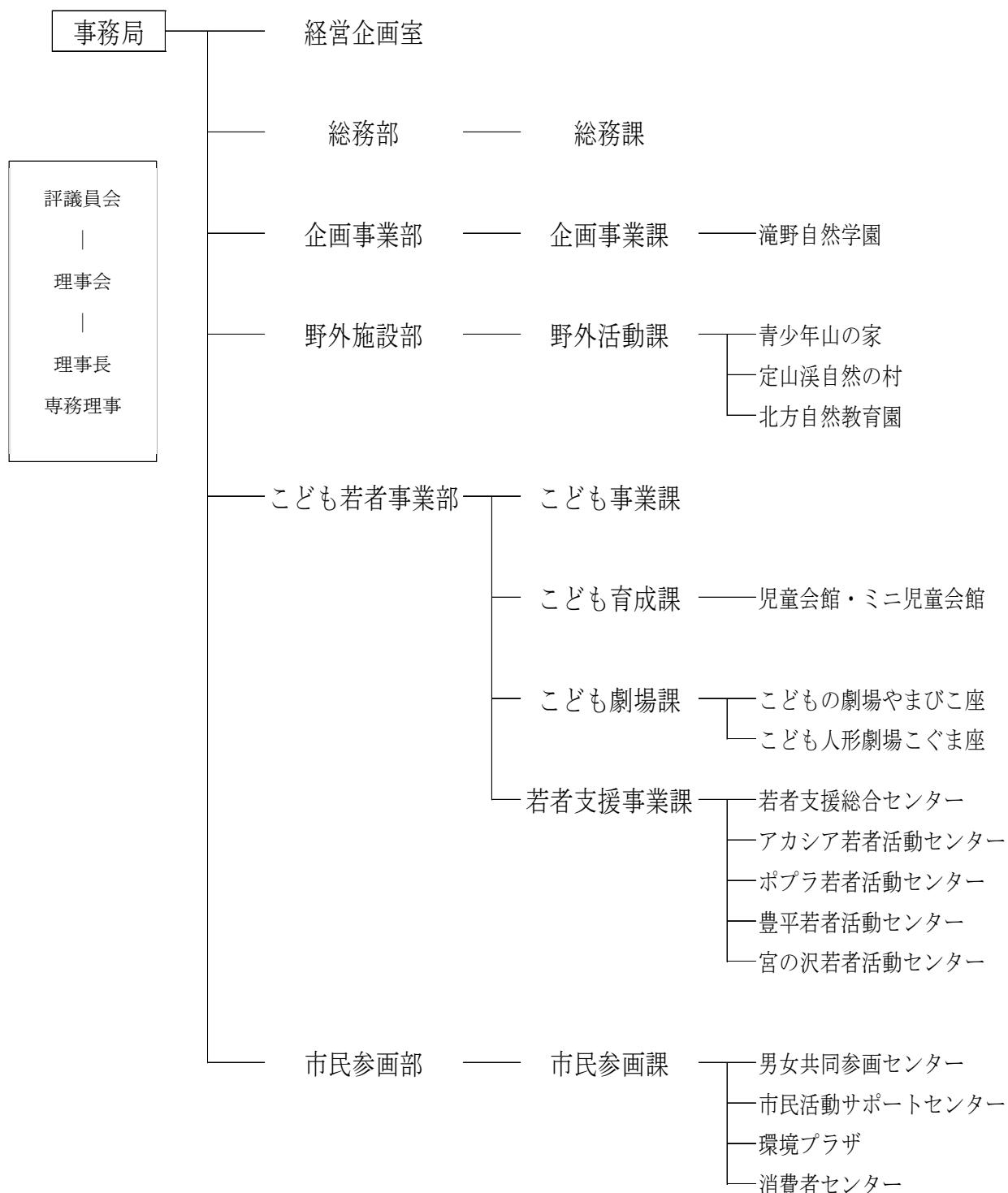
令和元年度における評議員会は、次のとおり 1 回開催した。

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和元年 6月21日	【第 8 回評議員会】 1 「平成 30 年度事業報告及び附属明細書」の件 2 「平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認」の件	1 報告 2 可決

6. 職員に関する事項（令和元年度末現在）

令和2年3月31日現在における事務局組織は次のとおりである。

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 機構図



(1) 主要な職員

役職名	氏名	採用年月日	担当業務
事務局長	生出裕一	平成元年6月19日	財団運営業務の総括
経営企画室長	佐々木勝敏	平成12年4月1日	経営企画室業務の総括
企画事業部長	石井一彦	昭和63年4月1日	企画事業課業務の総括
野外施設部長	岡本峰子	昭和61年4月1日	野外活動課業務の総括
こども若者事業部長	下川原清貴	昭和63年12月14日	こども若者事業部業務の総括
こども育成担当部長	五十嵐健二	平成元年4月1日	こども育成課業務の総括
こども育成担当部長	井崎光男	昭和59年9月9日	こども育成課業務の総括
市民参画部長	齊藤隆弘	昭和60年4月1日	市民参画課業務の総括
経営企画室課長	高橋雅裕	平成8年5月1日	経営企画室業務の総括
総務課長	会田彰仁	平成4年2月1日	総務・財務・経理等の総括
人事担当課長	土井聖子	平成12年4月1日	人事・労務等の総括
企画事業課長	蓮井潤子	平成4年4月1日	企画事業課・自主事業の総括
野外活動課長	大場睦彦	昭和62年4月1日	青少年山の家の総括
定山渓自然の村担当課長	志賀和行	昭和63年2月1日	定山渓自然の村の総括
こども事業課長	加藤孝	平成12年4月1日	こども事業課業務の総括
管理担当課長	佐々木初美	平成15年4月1日	児童会館管理に関する総括
こども育成課長	山田憲克	平成10年4月1日	育成課調整に関する総括
児童会館担当課長	齋藤隆仁	昭和59年4月1日	児童会館(厚別・清田・白石担当)
児童会館担当課長	笛川晃宏	平成5年4月1日	児童会館(中央・南・手稲担当)
児童会館担当課長	長谷川美千代	平成11年6月1日	児童会館(東・豊平担当)
児童会館担当課長	高坂美江	平成12年4月1日	児童会館(北・西担当)
こども劇場課長	矢吹英孝	平成3年4月1日	こども劇場課業務の総括
若者支援事業課長	松田考	平成13年1月1日	若者支援事業課業務の総括
市民参画課長	山田弓人	平成8年12月1日	エルプラザ公共4施設業務の総括
市民活動担当課長	斎藤美季	平成5年6月1日	市民活動に関する調整

(2) 職員数

主任指導員	192人	サポートスタッフ	41人
指導員	499人	再任用職員	16人
専門指導員	54人	臨時職員	97人
職場限定職員	57人	パートタイム職員	951人
主任パートスタッフ	194人		
合計			2,101人
内常勤職員数	1,037人	内非常勤職員数	1,064人

7. 会計に関する事項

公認会計士の関与の有無

監査契約締結(「独立監査人の監査報告書」:令和2年5月25日)



公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会